



# Organizer 使用方法

Ver 1.0

2009年11月2日

株式会社クライム

# 1. はじめに

## 1.1. 本ドキュメントについて

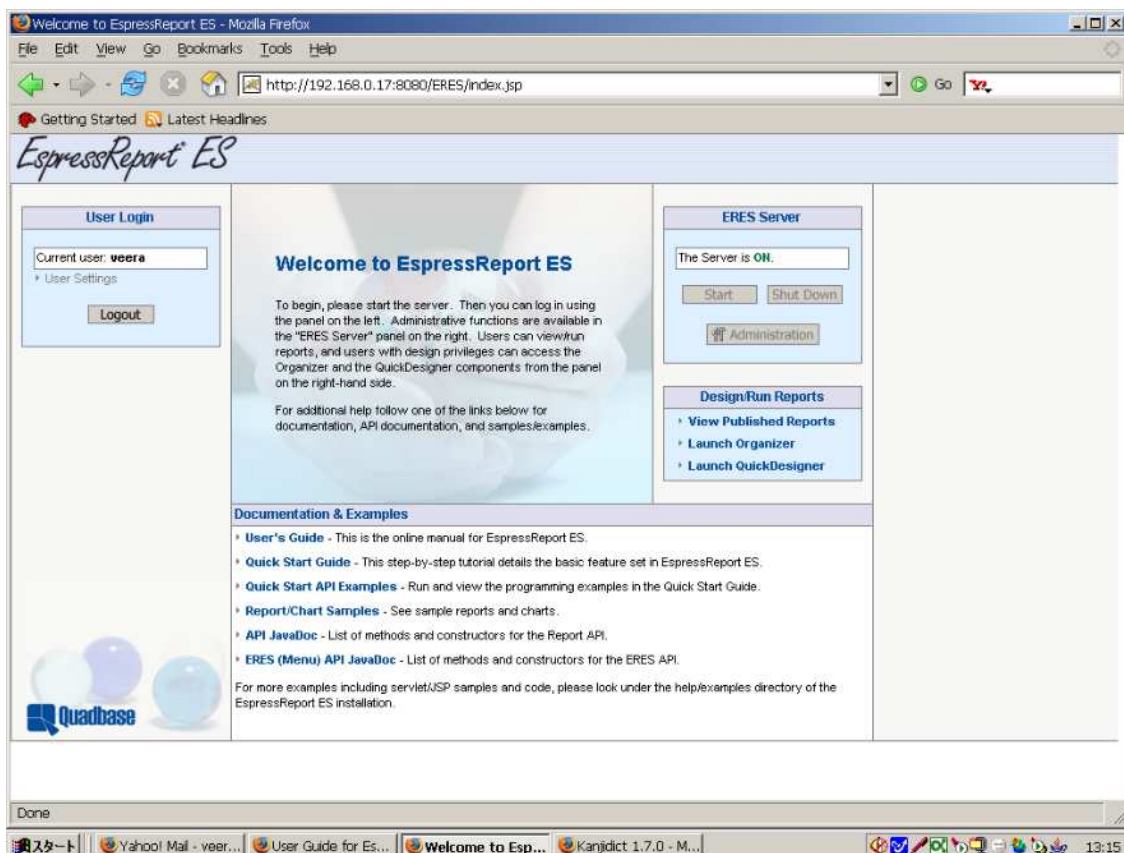
### 1.1.1. 対象範囲

本ドキュメントは、EspressReport ES (ERES), EspressDashboard の Organizer 使用方法について説明します。

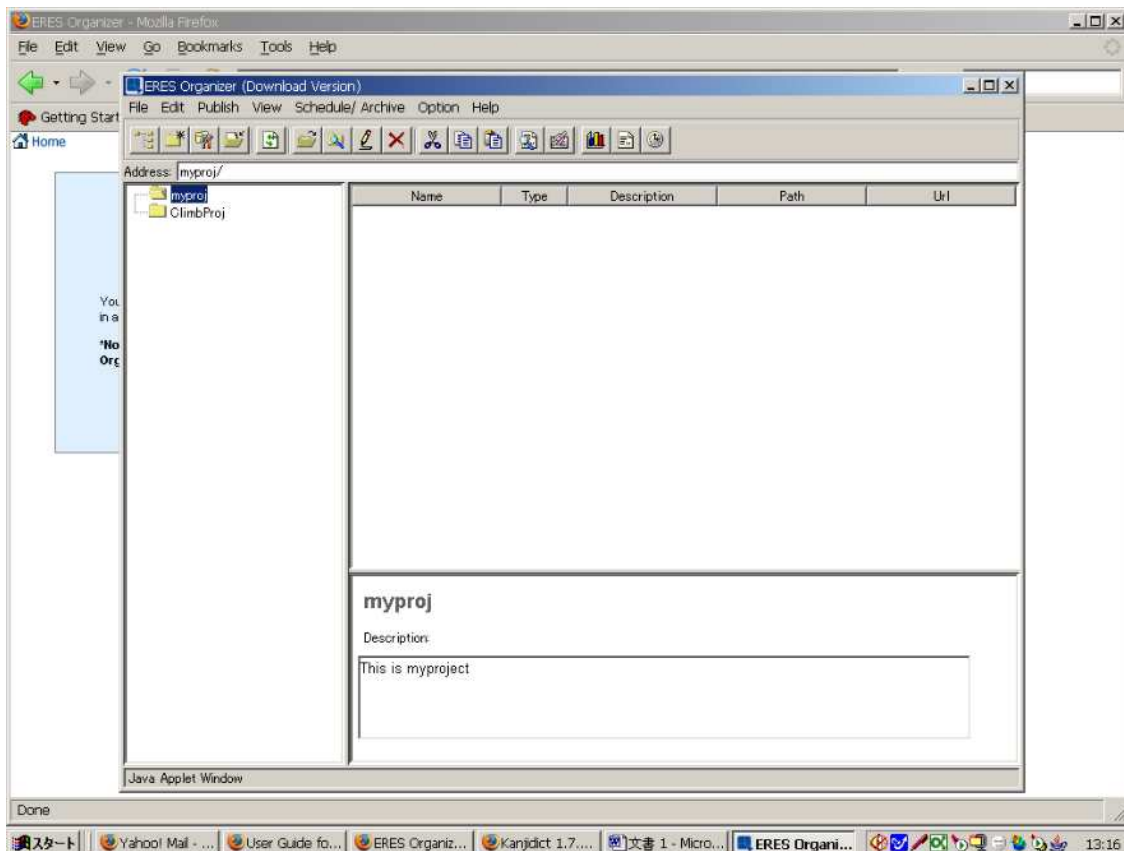
## 1.2. 変更履歴

版	作成日	変更者	内容
1.0	2009/10/2	川上	初版

**Step 1 :** クライアント・サイドから EspressoReport ES (ERES)スタート・ページをオープンして指定されたユーザ名、パスワードでログインする。ログイン後に, administration ファンクションが消え、[Design/Run Reports ]ダイアログのオプションが表示されます。

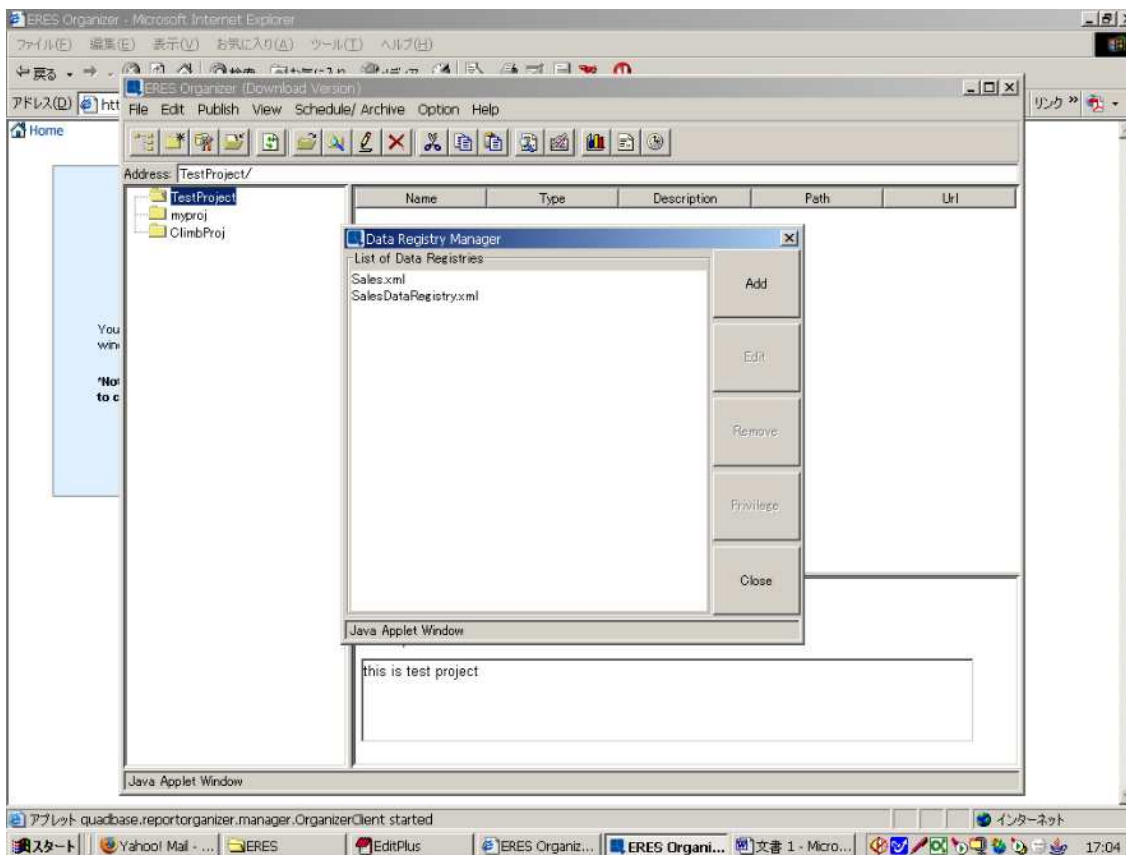


**Step 2:** 次に[Launch Organizer]をクリックします。これにより Organizer JSP ページがオープンします。Organizer はアプレットとしてスタートしますので、少し時間が係ります。

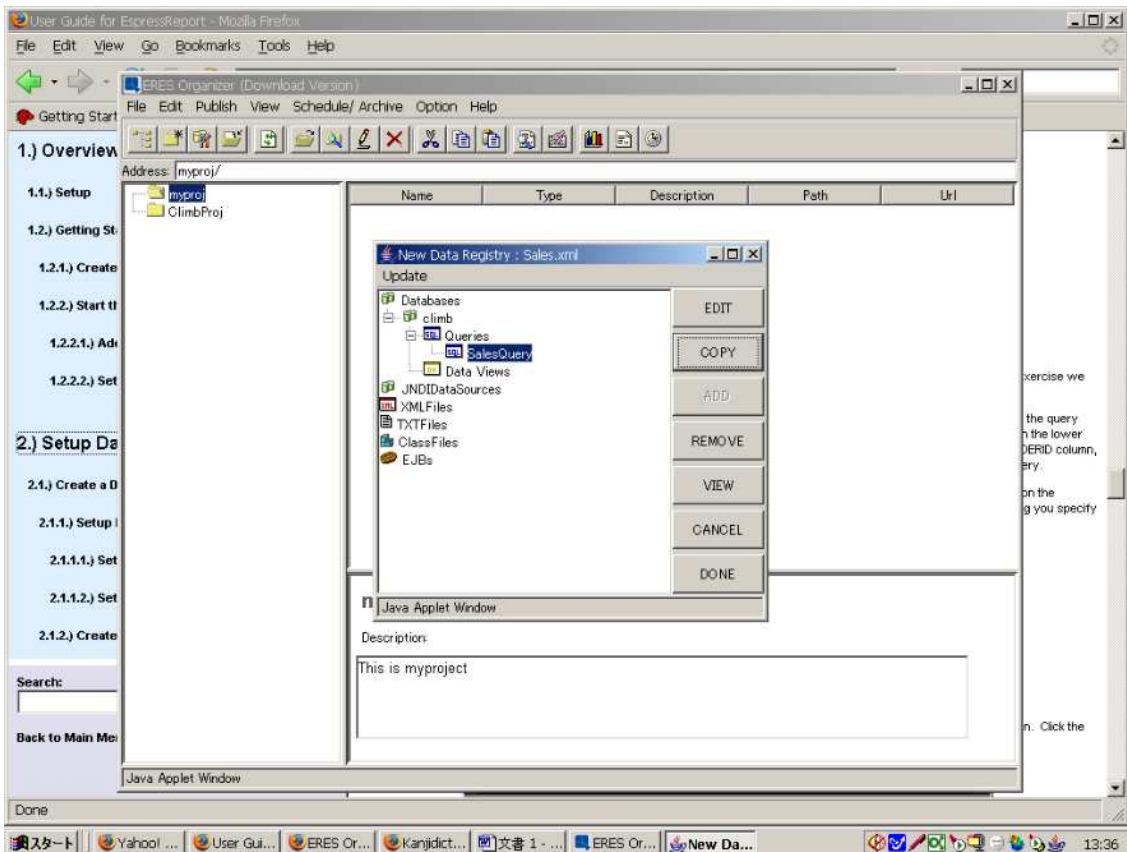
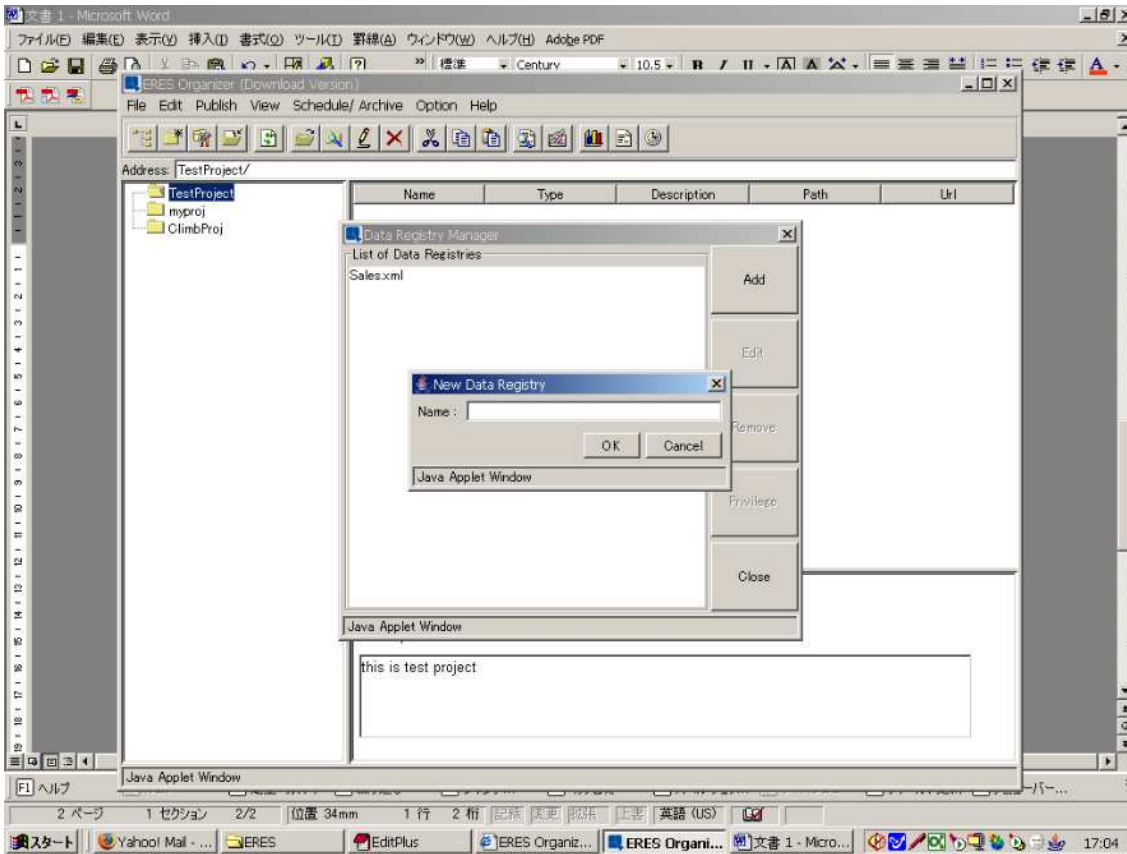


**Step 3:** Organizer 内のレポートとチャートはプロジェクトとフォルダにグループ化されます。ここでは後のセクションで使用するレポートとチャートを追加するための新規プロジェクトを作成します。新規プロジェクトを追加するためにツールバーの[New Project]ボタンをクリックします。

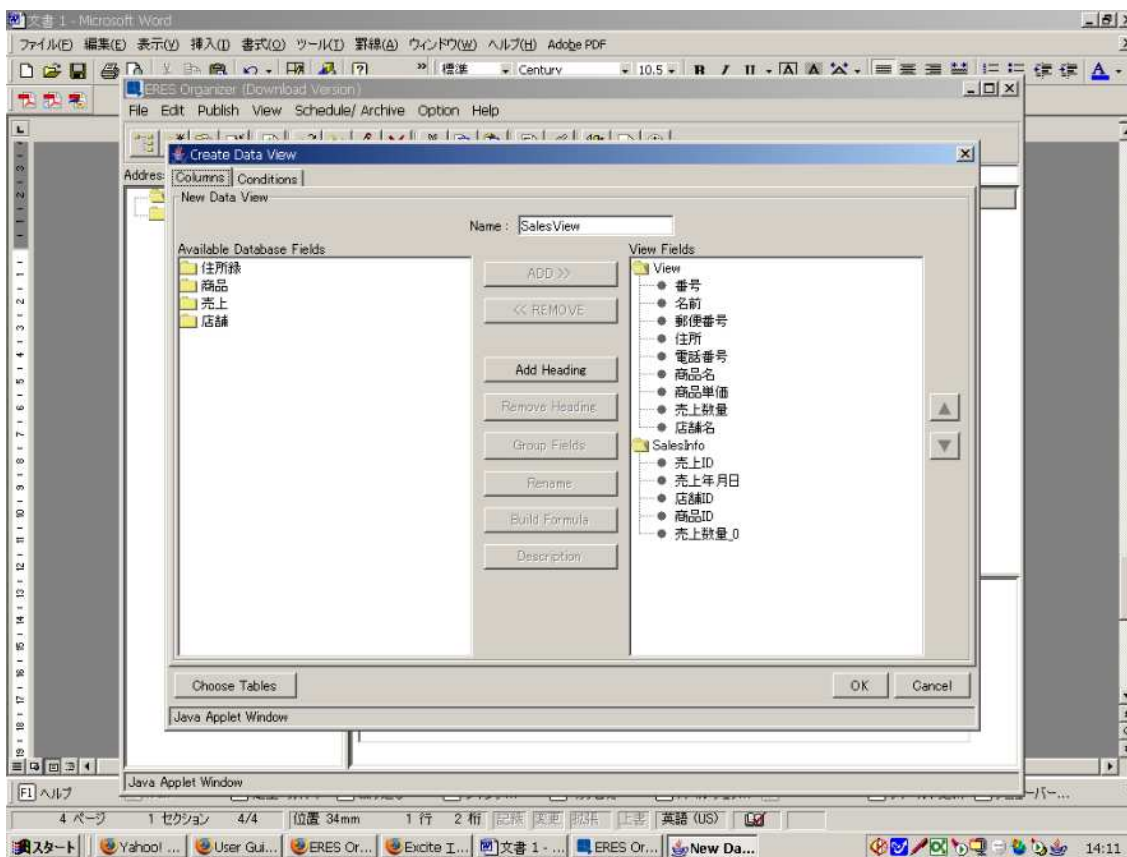
**Step4:** 新規データ・レジストリを作成するために、**Organizer** をオープンし、ツールバーの[manage data registries]ボタンをクリックします。これにより ERES 内で指定された全てのレジストリを含むダイアログが現れます。



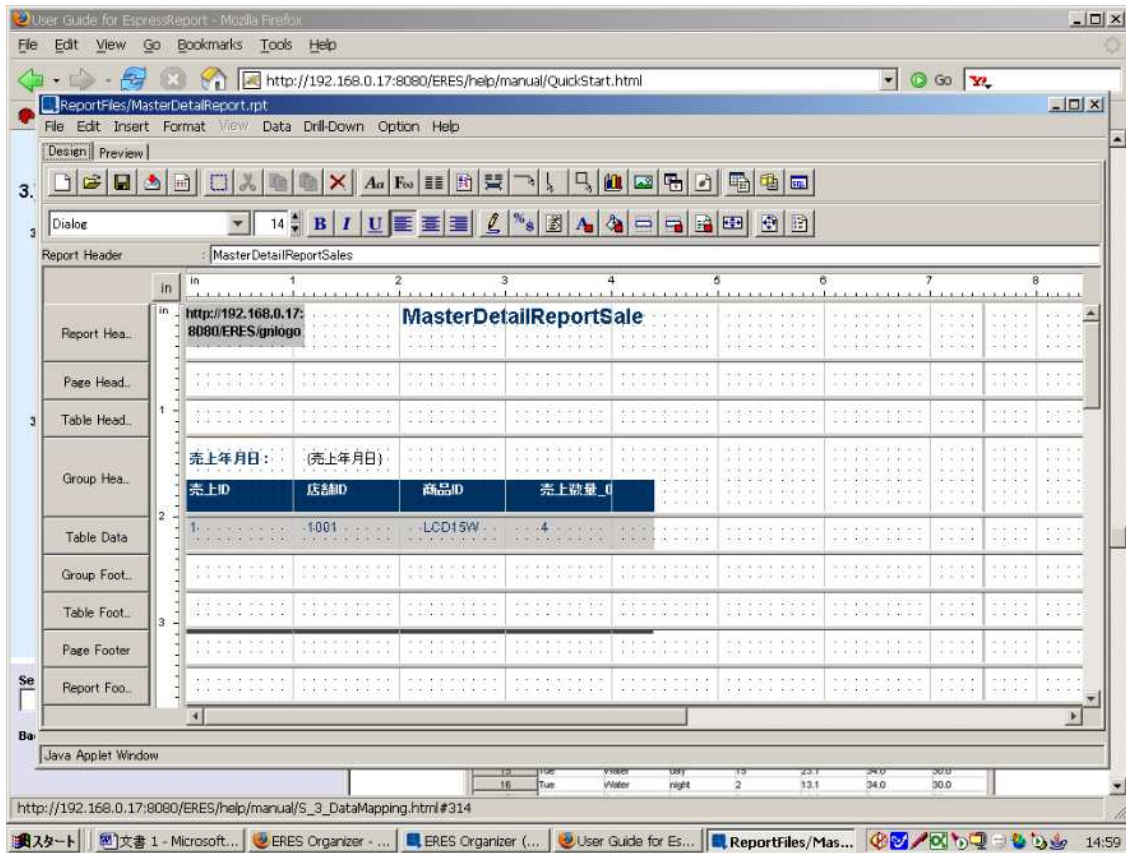
**Step 5:** 新たにデータ・レジストリを追加するためにダイアログの[Add]をクリックします。



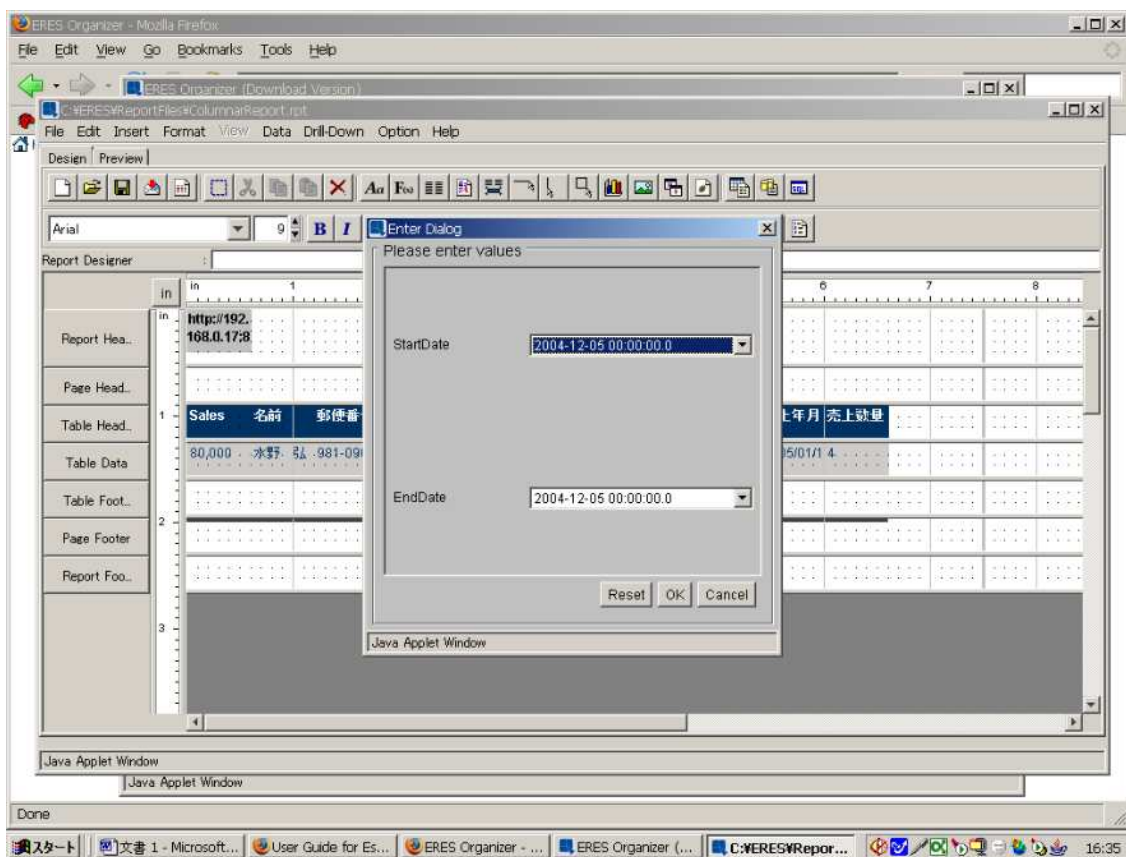
**Step 6:** Data View もまたアドホック QuickDesigner で利用することができます。



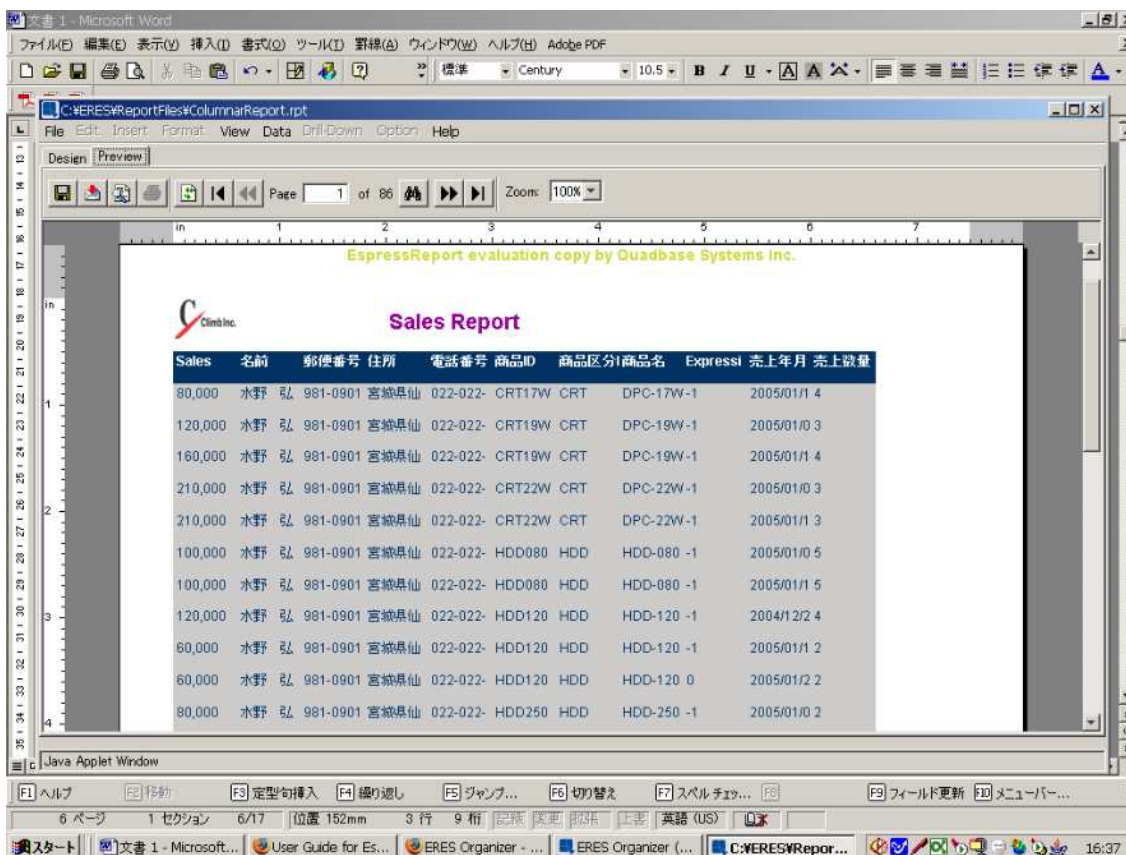
**Step 7** レイアウト・スクリーンで Master & Details (総合項目と詳細事項の組合せ) レイアウトを選択し、[Next]ボタンをクリックして Design ウィンドウに移ります。



**Step 8:** [ Preview]スクリーンをクリックし、パラメータ値に対してデータを入力します。



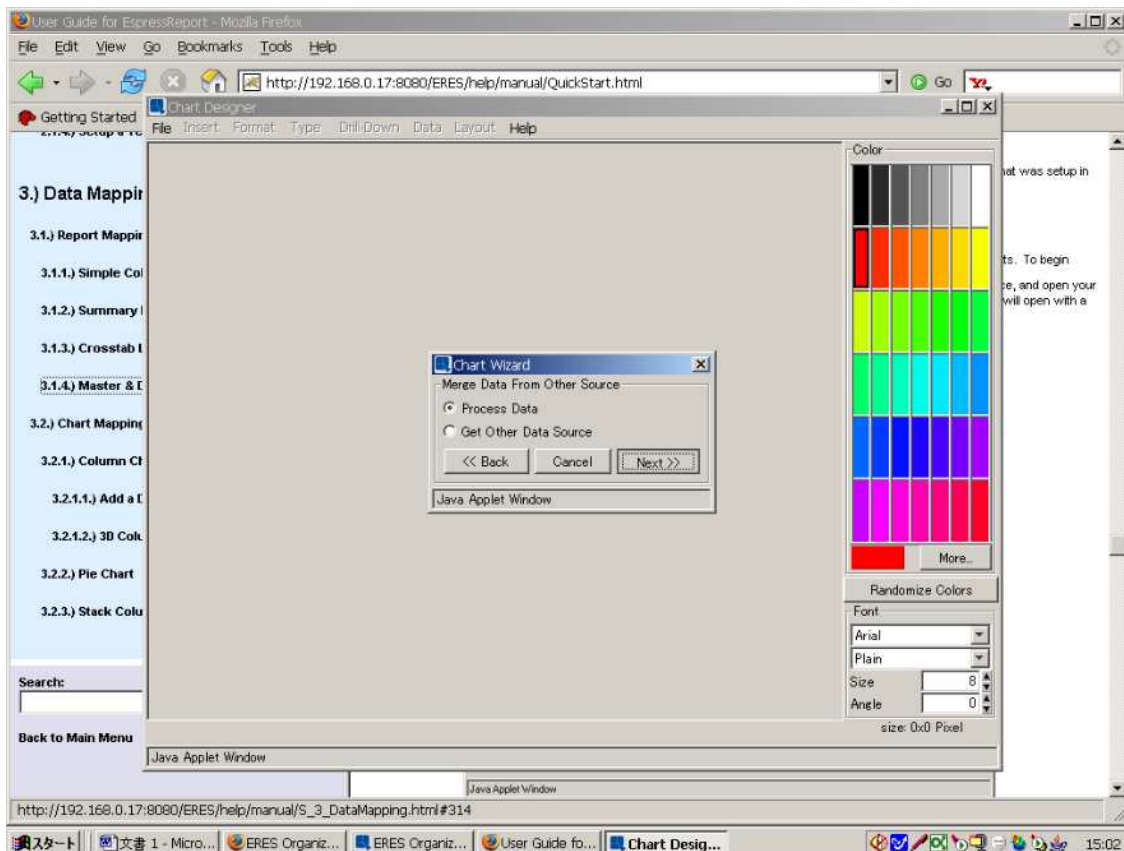
Step 9:スクリーンでレコードを確認します。



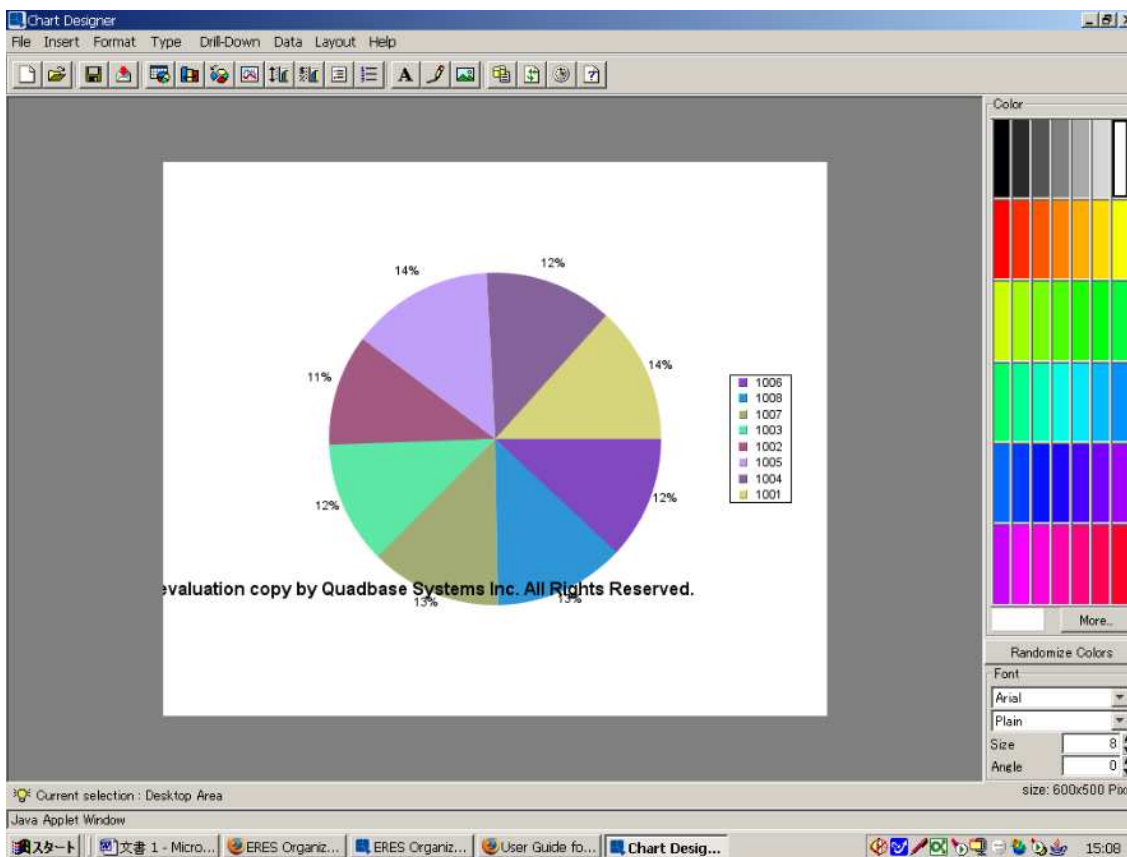
Step 10:ツールバーのチャート・アイコンをクリックします。

Step 11 :ダイアログ下側の[Next]をクリックします。ダイアログが現れ、チャートのための新たなデータ・ソースの選択を聞いてきます。

**Step12 :** [Process Data]を選択し、[Next]をクリックします。次に作成したいチャート・タイプを選択するためのダイアログに移ります。



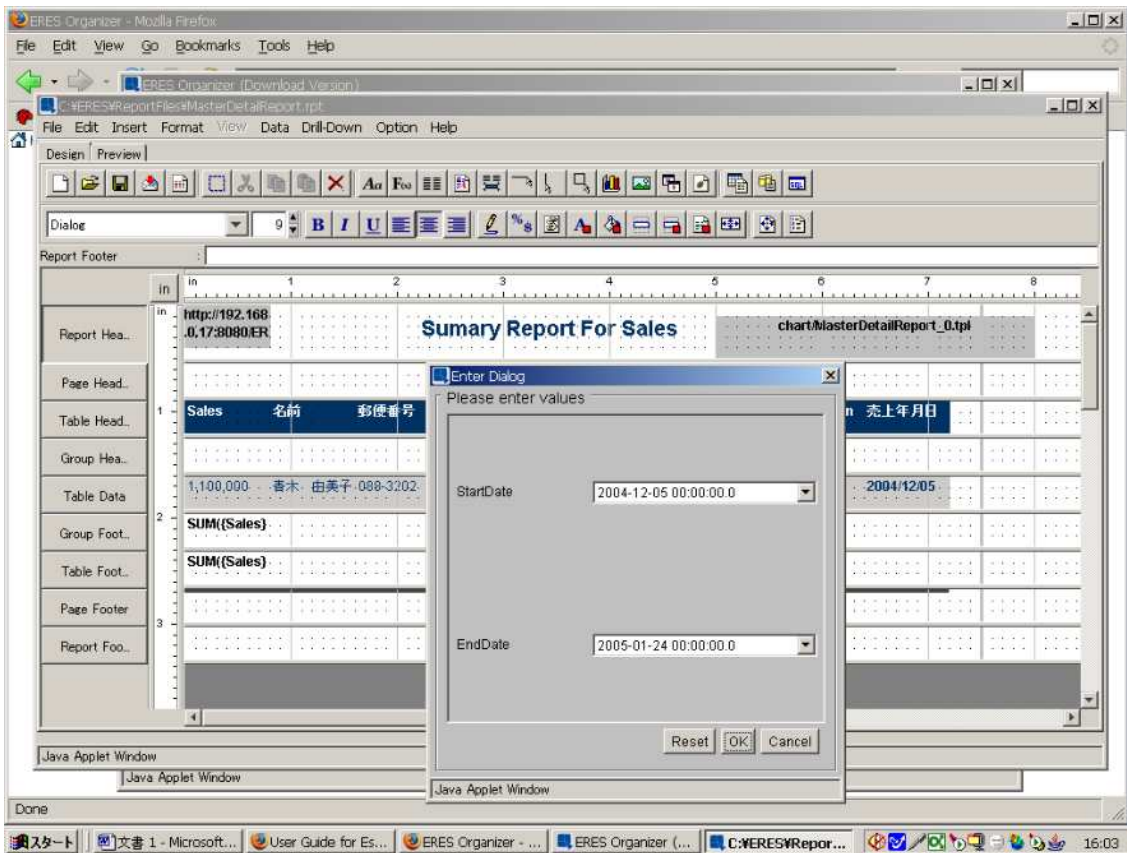
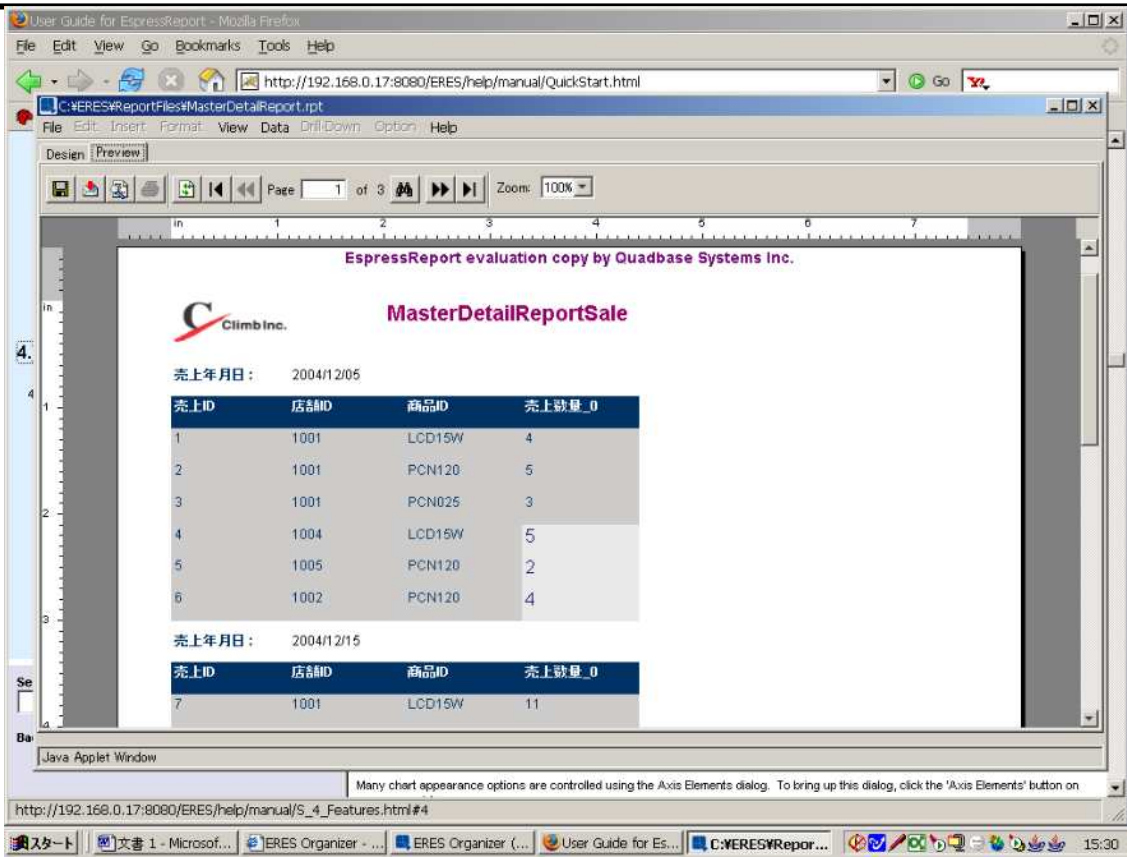
**Step 13 :**チャートの選択を行います。( Pie Chart 例 )



**Step 14 :** チャートとレポート

ERES には自動でレポート上にドリル・ダウンを実行できる機能があります。レポートはカテゴリ名をベースにパラメータ化されます。 Design ウィンドウに戻り、Drill-Down メニューから [Navigate] を選択します。

**Step 15 :** 「\*\*」のスター・マークはデザイナーでどのレベルが現在オープンしているかを示しています。



**Step 16** :ここでもう一度 Drill-Down メニューから [Navigate]を選択します。 追加したレーヤのための新たなノードを確認ください。ルート・レポートを選択し、デザイン・ウィンドウを開くために、[Edit] ボタンをクリックします。

**Step17** :ここで[Preview]ボタンをクリックします。

